

V I S I T はちのへ理事長賞

私の隣の緑と花

小中野中学校 二年 坂 美鈴

私の住む青森県には、たくさんの緑と花があります。私の家は、よく休日に近くの花を見に行きます。例えば、春には新郷村のミズバショウ、弘前市の桜。夏には平川市のハス、南郷のヒマワリ、秋は十和田市の紅葉を見に行きます。私は花を見ることが大好きです。もちろん写真で見るのもよいのですが、間近で自分の目で見る花の表情は全然違います。その場で見ると色んな角度、視野で見ることができると、より細かく鮮やかな色が分かるし、花・葉・土のにおい、風で花や葉が揺れる音まで感じることが出来ます。初めて見る花や、珍しい形や色の花、おもしろい名前の花などたくさんの発見があつて、とてもわくわくします。花と一緒に自分、家族、友達、建物、空の写真を撮ると写真が一気に華やかになります。花畑の近くのお店に行くと、その地域ならではの花の食べ物、スイーツがあつておいしいし、季節や、地域性を感じさせるとてもいい取り組みだと思います。美しく、きれいでかわいらしい花を間近で見て体験できることは、心が温まり、とてもすばらしいことだと思うのです。家族と、次は何の花を見に行こうかと話している時間も楽しいひとときです。だから、私は花を見ることが大好きで

す。

けれど、最近私は、もっと身近な緑と花を見つけてきました。それは、私の家の庭のトマトです。二年前、トマトを育てたいと思つて、祖母にトマトの苗を買ってもらいました。買つてもらつた日に庭に植えて、水をあげていたのですが、なかなか育ちませんでした。あきらめず育てていたのですが、元気がどんどんなくなってしまい、徐々に葉がなくなつて最後には、すっかりしおれてしまいました。残念だな、と思い、その年のトマトの世話は終わりました。

ところが、次の年、去年トマトの苗を植えた場所から、見たことのない芽が生えていたのです。何の芽か分からなかったけれど、とりあえず育てることにして、水をあげていました。すると、どんどん大きくなっていつか、見たことのある植物になりました。トマトです。私は驚きました。去年、もうしおれてなくなつたと思つたトマトが復活したのです。うれしくなつて、家族みんなで育てました。毎日毎日ぐんぐんと大きくなつていきました。肥料もあげて、支柱も立ててあげました。夏休みが終わる頃には赤い実が何個も何個もできました。売つてあるトマトには及ばないけれど、少し酸っぱいおいしいトマトができました。

次の年の春、庭にいくつかの芽が出ました。まさか、と思つて育てていくと、やはりトマトでした。去年、土に落ちた実の中の種子が育つたのでしよう。私はトマトの生きる力にとつて

も驚きました。初めの一つの苗から、いくつもの芽ができて、トマトができて、感動しました。本当にすごいと思えました。今、うちの庭にはたくさんの赤い実がなっています。来年も頑張つて育てて、トマト畑にしたいです。

他にも身近な緑と花があります。通学路に咲いている植物たちです。ある日、毎日のように同じ道を歩いているけれど、意外と植物を見ていないことに気づきました。気をつけて通つてみるときれいな花がいっぱいありました。その日から、花を見て歩くようになりました。登校のときと下校のときで様子が変わっているものの、昨日よりも成長しているものがあつて登下校の楽しみができました。季節を感じるときもあつてうれしくなります。

私は、身近な生活の中にはたくさんの緑と花があることに気がつきました。まだ、具体的にはないのですが、私は将来、自然を守る仕事につきたいと思つています。これから先人生が終わるまで美しい花たちを見て過ごしたいし、国が遠く遠くの人たち、未来の子どもたちにも間近で緑と花に触れてほしいと考えたからです。しかし、今、地球では森林が伐採され、地球温暖化の原因の一つにもなっています。温暖化の影響は深刻で、生態系が変化している植物もあります。また、オーストラリアや、スペイン、カリフォルニアなど世界各地で大規模な森林火災が発生するなど、これから緑と花がどんどん失われていく恐れがあります。一人ひとりが

緑と花を守るためにできることは限られてい
るけれどゼロではありません。家で植物を育て
てみたり、花を見に行ってみたりしてみただけ
でも緑や花を守ることにつながるのだと思っ
ます。これからも豊かな緑と色とりどりの花と
共に暮らすために、今、たくさんの緑と花と共
に楽しく暮らしていきたいです。